

令和7年4月1日

消防防災分野において有効に活用できると認められる

「消防防災製品等」の推奨

消防防災製品等推奨品

(一財)日本消防設備安全センター



一般財団法人日本消防設備安全センターでは、令和4年8月9日付けで、一定以上の地震を感じた時に漏電ブレーカーを遮断し、地震時に発生する通電火災を防止する感震ブレーカー(簡易タイプ)を次のとおり推奨しました。

令和5年1月30日付けで、軽微変更に伴い次のとおり更新しました。

| | |
|----------|------------------|
| 製品等の名称 | 感震ブレーカー等 (簡易タイプ) |
| 製品名・型式記号 | 瞬断 · SND250G |
| 推奨取得者 | 株式会社エコミナミ |
| 推奨番号 | 推防災第52号 |
| 推奨年月日 | 令和4年8月9日 |
| 推奨の有効期限 | 令和9年3月31日 |

感震ブレーカー

瞬断

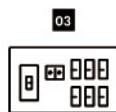
遮断の仕組み



震度5強以上の
地震を検知します。



基板に供給されている
商用電源L(非接地側)から
基板内抵抗を通して
E(アース側)へ信号を流します。



漏電ブレーカーが
信号を検知し、
ブレーカーを遮断します。



取付け簡単

●アース付きコンセントに
差し込むだけ！

●おすすめの設置場所は、
洗濯機置き場や冷蔵庫の
周りにあるアース付きコン
セント。

本製品「感震ブレーカー等(簡易タイプ)」は、一定以上の地震を感じた時に漏電ブレーカーを遮断し、地震時に発生する通電火災を防止するコンセント用アダプターで、次に掲げる特長、構造・機能を有するものである。

1 特長

- (1) アース付コンセントに設置し、震度5強相当の揺れを感じるとアース線に擬似漏えい電流を流して、分電盤に設置されている漏電ブレーカーを作動させる。
- (2) 取り付けには電気工事が不要で、付属の水平器を本体上部に乗せて水平をとり、裏面の粘着テープ(両面テープ)とプラグの差し込みで簡単に取り付けできる。
- (3) LED(青)の点灯により正常作動(待機状態)の確認ができる。
- (4) 電池を使わない機構であり、電力もほとんど消費しない(LED点灯のみ)。

2 構造・機能

- (1) 本製品は、本体に感震部を内蔵し、本体裏面の粘着テープ(両面テープ)を剥がし、裏面のプラグをコンセントに差して固定する本体、及びアース線により構成されている。
- (2) 「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」(平成27年2月)に基づく震度5強相当の簡易試験の揺れに対応している。
- (3) 所定の地震波を感じた場合、約66mAの擬似漏えい電流を直ちにアース線に流し、漏電ブレーカーを0.1秒以内に遮断する。
- (4) 停電時には作動せず、地震感知後の復電時に感震機能が働いていなければ、漏電ブレーカーを遮断しない。
- (5) 専用プラグの接地側電極(N側)の刃は樹脂製であり、トラッキング火災が起きない構造となっている。
- (6) 地震の影響がなく、安全が確認されたとき、本体の取付け状態に異常がなければ、復帰操作は不要で、漏電ブレーカーの復帰のみでよい。
- (7) 本製品は、電気用品安全法に定める電気用品には該当しないが、準拠して行った適合性検査に適合している。

3 付帯事項

- (1) 高速形、定格感度電流30mA以下である漏電ブレーカーが設けられていること。
- (2) 取扱説明書(兼取付説明書)に従い、本体を水平に取り付け、本体プラグをAC100Vアース付コンセントに差し込み、確実にアース端子を接続すること。
- (3) 地震以外の生活振動等での誤作動の発生等について注意すること。
- (4) 人や物にぶつからないよう、製品を取付けるコンセントの場所に配慮すること。
- (5) 即時遮断するため、避難や建物内の安全確認に必要な最低限の照明の確保に留意すること。
- (6) 漏電ブレーカーを遮断するため、医療機器等のための継続的な通電が必要な回線は確保できないこと。

本推奨製品に関するお問い合わせ先

- ・一般財団法人日本消防設備安全センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館10階
TEL 03-5422-1492/FAX 03-5422-1584
E-mail suisho@fesc.or.jp
- ・株式会社エコミナミ
〒206-0802
東京都稻城市東長沼340-1
TEL 042-378-5222 / FAX 042-378-3040
E-mail info@ecominami.jp